

平成 22 年 1 月 22 日

各 位

本社所在地 京都市下京区中堂寺粟田町 93
 会社名 オプテックス・エフエー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小國 勇
 (コード 6661 大証ヘラクレス)
 問合せ先 取締役 管理部門統括
 坂口 誠邦
 (TEL 075-325-2930)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 7 月 17 日に公表いたしました平成 21 年 12 月期の通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期の連結業績予想数値の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,900	40	30	△ 25	△1,003 円 37 銭
今回修正予想 (B)	2,800	5	1	△ 66	△2,648 円 90 銭
増 減 額 (B-A)	△ 100	△ 35	△ 29	△ 41	—
増 減 率 (%)	△ 3.4	△ 87.5	△ 96.7	—	—
ご参考：前期実績 (平成 20 年 12 月期)	3,806	376	412	215	8,647 円 28 銭

2. 修正の理由

売上高におきましては、第 3 四半期以降、国内において一部製造メーカーの設備投資の減速の下げ止まりと、アプリケーション機器の新機種の新市場投入、同業他社との協業による電子部品、機械メーカーといった新規顧客の開拓で受注は持ち直すことができましたが、主要市場である欧州向けは、第 3 四半期を底に受注は回復傾向にあるものの、景気低迷による設備投資抑制の影響を受け前回予想値を下回る見込みであります。

これらの結果、売上高は前回予想を 100 百万円 (3.4%) 下回る 2,800 百万円となる見込みであります。利益面につきましては売上高の減少による粗利益額の減少により営業利益は前回予想を 35 百万円 (87.5%) 下回る 5 百万円、経常利益は 29 百万円 (96.7%) 下回る 1 百万円となる見込みであります。また、当期純損失は売上減に伴う営業利益の減少に加え特別損失として投資有価証券の評価損 9 百万円の計上により前回予想から 41 百万円増加の 66 百万円の損失となる見込みであります。

なお、1株当たりの期末配当金（1,500円、年間2,500円）予想につきましては、変更ございません。

ご参考：平成21年12月期

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	年間
平成21年7月17日発表	－	1,000円00銭	－	1,500円00銭	2,500円00銭

(注) 上記の業績予想は本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上